

年齢を重ねていくと、時間の流れというものが早く感じますね。健診部的には毎年恒例の春の繁忙期がようやく落ち着いたなあ、と思っていたら、本当に早いもので2025年も間もなく終わろうとしています。そしていつの間にかクリスマスの時期になっていました。この「健診部だより」2025年冬号の原稿も12月24日のクリスマスイブに書いております。

ところで、クリスマスといえば・・・我が健診部の事務所は新横浜リハビリテーション病院のサポートセンターという建物の2階にあるのですが、健診部のお隣が保育室「プスプス」なんです。病院にお勤めの職員のお子さんを預かっているところです。毎年クリスマスになると、保育室ではクリスマス会が開かれるのですが、その際に職員の誰かしらがサンタクロースに扮し子供たちにプレゼントを届けるというイベントをやっております。あっ！サンタクロース役を病院の職員がやっていることは子供達には内緒にしてくださいね（笑）で、今年2025年のサンタクロース役はワタクシがやらせていただくことになりまして、つい先ほど無事にその大役を果たして来たところでございます。画像はその時のひとコマですが、いかがですか？決まっているでしょう？我ながら完璧なサンタクロースぶりに感動しております。ただし、この日はたまたま保育室にいたお子さん達は全員1歳にも満たない小さな子達ばかりで・・・おそらく突然現れた謎のおっさんにビックリしたのでしょう。見事にギャン泣きされてしまいました。そんなこんなで大変賑やかなクリスマス会となりましたが、無事にプレゼントもお届けし、最後はみんなで記念撮影をして退散してまいりました。いやあ、妙に緊張しましたね。子供たちの夢を壊してはいけないし、照れたりカッコつけたりせず最後までサンタクロースを演じきらないと、という思いで一生懸命やりました。普段の仕事よりも一生懸命やりました。いや、もとい・・・普段の仕事と同じようにまじめにやりました。

さて・・・振り返れば、今年も様々な出来事があった1年でした。もしかしたら、健診部的には激動の1年だったといっても良いかもしれません。新しい出会いと惜別、泣き笑い・・・つらい時もあれば、うれしい時もありました。

毎日いろんなところに出かけて行き、様々な場所でたくさんの方々と出会う。健診部ならではの苦労と喜びがいっぱいの1年でした。そして最近つくづく思うのは、毎日こうして元気で働けるのも健康な身体あつてのことだなと痛感し

ております。若い頃はそんな当たり前のことに気づきもせず、あるのはただひたすら物欲のみでした。しかし、還暦が目前となった昨今、サンタさんに何かひとつプレゼントをいただけたら、お金やモノではなく「健康な身体」と言いたいです。出来れば10代から20代の頃の自分に戻って欲しいと思う今日この頃・・・。などとくだらない事を考えながら、歳の瀬独特の空気感に包まれています。新しい年もみなさんと元気に明るく楽しく、そして一生懸命頑張りたいと思います。



Merry Christmas ! & Happy new year !